

新潟地方気象台の3か月予報（2月20日発表）によると、3月から5月は平年並みから高温の予報となっています。令和6年産米の生産に向けた春作業がまもなくスタートします。この冬は雪が少ない状況ですが、作業計画は田植日からの逆算で立てましょう。

令和6年産米の生産に向けた重点対策

～反収8.5俵・1等米比率95%以上を目指した基本技術の励行～

令和5年産米は出穂期前からの極度の高温・少雨により品質低下を招きました。令和6年産米では、改めて品質と収量の高位安定化を目指して、圃場に応じた基本技術を励行しましょう。

- ① 積極的で継続した土づくりの実施
- ② 茎質の良い初期分けつの確保
- ③ 水持ちに応じた中干して適正茎数・適正粒数の確保
- ④ 穂肥診断による穗肥施用の確実な実践
- ⑤ 出穂期後の水管理による稻体の活力維持
- ⑥ 適期刈取りによる品質低下の防止

※各対策の詳細は今年度のあぜみちで順次ご案内いたします。

～積極的で継続した土づくりの実施～

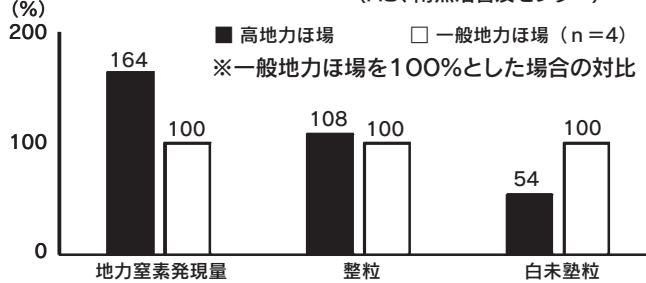
● 圃場の地力（地力窒素・保肥力）向上とケイ酸で、養分を生育後期まで吸収できる環境づくり！

● 有機質資材の継続施用による地力の向上

有機物（堆肥等）を継続施用することで、地力窒素の発現量や保肥力が増加し地力が向上します。これにより、化学肥料の減肥にもつながり、収量・品質の向上が期待されるため積極的に施用しましょう。

また、肥料効果があるため、年1回、0.6~1.0t/10a程度が散布量の目安になります。

図1：高地力ほ場と一般地力ほ場の玄米品質の比較
 (R5、南魚沼普及センター)



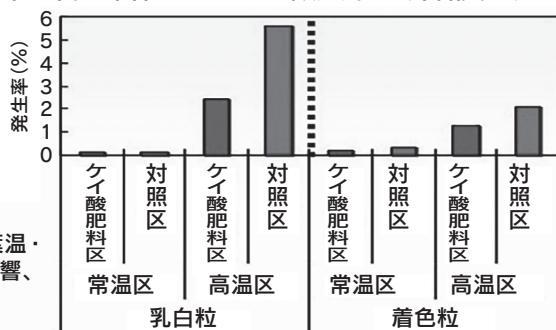
高地力ほ場では、白未熟粒発生率が一般地力ほ場の半分程度に抑えられ、整粒歩合は8%高かった。

● ケイ酸施用による稲体の健全化

ケイ酸質資材の施用により、茎葉が丈夫になり、葉が直立して受光態勢が良くなるため、耐倒伏性や光合成能力が向上します。気象変動に対する抵抗力の向上が期待されるため、継続施用を行いましょう。

※金田ら、ケイ酸質肥料が高温処理水稻の葉温・気孔コンダクタンス・ケイ酸吸収に及ぼす影響、「日本土壤肥料学雑誌第81巻、2010」

図2：高温条件におけるケイ酸施用が玄米品質に及ぼす効果



農業者応援事業（JA 独自助成）で 皆様の土づくりを応援します！



→土づくり肥料の補助率10%→30%へ拡充！

ケイ酸施用は異常気象の対策だけでなく、生育の安定による収量・品質の向上も期待されます。応援事業を活用して、積極的に施用しましょう！

※応援事業の内容は営農指導課までお問合せください。

● ケイ酸を多く含む土づくり資材（応援事業対象資材一例）

肥料名	施用量の目安 (10a 当り)	使用時期	特 徴
越後の輝き ソイルスター	30 kg	耕起前 全面散布	水稻が吸収しやすいケイ酸を含む。15kg/袋のため、取り扱いしやすい資材です。(ケイ酸30%)
けい酸加里 プレミア34	40~60 kg		ケイ酸分とカリを豊富に含んでおり、カリは緩効性のため効率よく吸収されます。(ケイ酸34%)
スーパーシリカ プレミアム	60~100 kg		高溶出のケイ酸を含有しており、効率よくケイ酸を投入できます。(ケイ酸30%)
とれ太郎	60~120 kg		高溶出のケイ酸のほかに、苦土(マグネシウム)が豊富に含まれており、食味向上を図れます。(ケイ酸30%)

～茎質の良い初期分けつの確保～

✿ 健苗移植と水管理で茎質の良い初期分けつ（2~3号分けつ）の割合を増加！
✿ 水持ちの悪い圃場は、深植えせず、深水管理で入水回数を減らし水温確保！

1. 健苗を適期移植する為の作業計画

健苗の適期移植に向けて、移植日に合わせた育苗計画を立てましょう。移植作業が一週間以上かかる方は段播きを行うことで、健苗移植→早期活着→初期分けつの確保につながります。

※段播きとは、浸種から播種を田植え時期に合わせて数回に分けること。

移植日の予定	播種日	催芽開始	浸種開始の目安
5月11~12日	4月21日	4月19日	4月7日
5月18~19日	4月28日	4月26日	4月14日
5月25~26日	5月5日	5月3日	4月21日
6月1~2日	5月12日	5月10日	4月28日

【各作業日数の目安】
浸種：12日 催芽：2日
播種：1日 育苗日数：20日

育苗様式		育苗日数
ハウス	加温	18~23日
	無加温	20~25日
露地 プール	加温	22~27日
	無加温	25~30日

2. 塩水選～催芽

●塩水選

充実した種粉を選別するために行います。塩水に種粉を入れた後に棒などでかき混ぜ、底に沈んだ充実した種粉を使用してください。※塩水選後は、種粉をよく水洗いしてください。

【塩水の作り方：水10ℓ当たりの食塩】

区分	水量	食塩量
うるち（比重1.13）		1.9kg
もち（比重1.08）	10ℓ	1.1kg

●種子消毒

近年、育苗期に気温の寒暖差が大きく褐条病等の種子伝染病害が散見されます。種子消毒により予防防治を実施しましょう。

(1) テクリードCフロアブル

使用時期	処理方法	適用病害名
浸種前	200倍液・24時間浸漬	もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、ばか苗病、いもち病等
	20倍液・10分間浸漬	
	原液を粉1kg当たり5mℓ塗抹（原液の場合）	

(2) タフブロック

使用時期	処理方法	適用病害名
催芽時	200倍液・24時間浸漬	褐条病、ばか苗病、いもち病、
催芽前	200倍液・24～48時間浸漬	苗立枯細菌病、もみ枯細菌病等

※タフブロックを使用する場合は、ダコニール剤との併用は行わないでください。

【薬剤使用量の目安（テクリードCフロアブル・タフブロック）】

種粉量	水量	薬剤使用量（200倍液）	薬剤使用量（20倍液）
5kg	10ℓ	50 (mℓ・g)	500 (mℓ・g)
10kg	20ℓ	100 (mℓ・g)	1,000 (mℓ・g)
25kg	50ℓ	250 (mℓ・g)	2,500 (mℓ・g)

(3) 温湯消毒

使用時期	処理方法	注 意 点
浸種前	処理温度 60℃ 処理時間 10分	①効果の安定と発芽率の低下を防ぐため、処理温度は60℃、処理時間は10分を厳守し、温湯消毒後は速やかに清水で冷却してください。 ②消毒後～浸種までに長時間経過すると種子に雑菌が付着する恐れがあるため、消毒後は早めに浸種に移りましょう。 ③温湯消毒後やむを得ず保存する場合は、十分に乾燥させて冷暗所で保存してください。 ④タフブロックとの体系処理を行い、防除効果を保つよう努めましょう。

●浸種【令和6年用種子粉の休眠について】

令和6年用種子は、昨年の高温豊穣の影響を受けて休眠は深いと予想されています。出芽揃いを良くするために浸種日数を2日程度多くとりましょう。

種粉1kgに対して水約3.5ℓの割合の水量で、浸種開始24時間は水温10～15℃を確保し、積算温度100～120℃(10～12日)を目安に行いましょう。

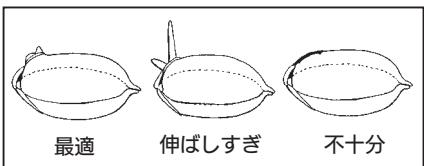
薬剤消毒を行う場合は、効果を高めるために前半の4日間は水を取り替えず、その後の水の更新は2～3日に1回行いましょう。水の更新に併せてネット内の種粉を混ぜ、ネットの天地返しを行いましょう。また、温湯消毒のみは雑菌を繁殖させないために、4月中旬以降は水温が高くなり過ぎないために、こまめな水の更新を行うようにしましょう。

●催芽

水温30℃で24~48時間を目安に行いましょう。
催芽ムラは播種ムラや出芽ムラなどにつながるため、催芽終了は必ず発芽状態を確認してください。
水温が30℃を超えると細菌性病害の発生が助長されるため、注意しましょう。



【ハトムネ状態の図】



お願い!!

種子消毒等の残液、廃液処理及び、容器・器具の使用は周辺環境に配慮し、適切に行ってください。

3. 播種の準備・病害対策

播種作業に向け、必要資材の確認と下記の内容を参考にしていただき、計画的でスムーズな播種作業の準備を行いましょう。

●床土・覆土をご自分で混和される場合

分類	資材名	容量	容量あたり箱数	1箱あたり
床土	川西床土または 育苗床土（ホーネンス）	20kg	8箱	2.5 ℥ (約2.5kg)
			16箱	1.25 ℥ (約1.2kg)
床土 混和	ピートモス	50 ℥	62箱	0.8 ℥ (4.5合)
	稚苗用苗代配合	10kg	330箱～400箱	25～30g

●ホーネンス培土を使用される場合

分類	資材名	容量	容量あたり箱数	1箱あたり
床土	ホーネンス培土1号または ホーネンス培土1号Si	20kg	7箱	2.8kg (N: 1.3g)
覆土	川西床土または 育苗床土（ホーネンス）	20kg	16箱	1.2kg

※培土にはすでに肥料、ピートモスが混和されています。

●細菌性病害対策

分類	資材名	容量	容量あたり箱数	1箱あたり
覆土前	カスミン粒剤	3kg	150箱～200箱	15～20g
播種後 覆土前	カスミン液剤	500mℓ	40箱～80箱	50mℓ 4～8倍液

●苗立枯病（カビ）対策

分類	資材名	容量	容量あたり箱数	1箱あたり
育苗箱 全体	ナエファイン粉剤	1kg	125箱～165箱	6～8g
	タチガレースM粉剤	1kg	125箱～165箱	6～8g
播種時 灌注	ナエファインフロアブル	250mℓ	500箱	0.5ℓ～1ℓ 1000～2000倍液
	タチガレースM液剤	500mℓ	500箱	1ℓ 1000倍液

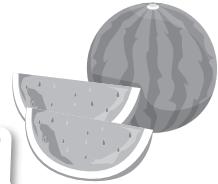
※ナエファインは3種類の苗立枯病菌（ピシウム、フザリウム、リゾープス）に適用があります。

お願い!!

育苗期間中の病害発生は適用農薬が少ないとから、発生予防を徹底しましょう！

粗収益40万円/10a!!

園芸技術情報



八色西瓜 新規生産者募集！

現在、八色西瓜生産組合では、西瓜栽培を共に取り組む新規生産者を大募集しております。新規生産者でも安心して栽培できるよう講習会やフォローワー体制も充実しています！

1. 水稻と相性の良い園芸品目

八色西瓜は、定植、収穫時期により複数の作型があり、主要作業の重複が少なく水稻との相性が良い園芸品目です。最初は10a程度から取り組みを始め、無理のない導入をオススメします。

【主な栽培スケジュールイメージ】

\	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
水稻					田植え						穗肥					稻刈り		
西瓜			定植			交配					収穫							

西瓜は稻作主要作業との重複が少なく、水稻栽培と相性が良い品目です。

2. 令和5年産八色西瓜収支事例（10a換算値）

初年度は下記を目標に取り組み、2年目以降からは、圃場条件・労働力等に応じて作付面積の拡大や、面積当たりの植付株数を増やし、高収益を目指せます。

【平均収支事例】植付株数250株/10a 出荷玉数450玉/10a

収入		収入計	支出		支出計
売上	72万円	87万円	資材費	31万円	54万円
奨励金	15万円		出荷経費	23万円	

粗収益
33万円

※奨励金は2L以上の玉に対し500円/玉を加算。奨励金対象率を70%で試算。



3. 各種補助事業を活用できます！！

補助事業を活用し、新規作付けや生産拡大にかかる資材費等のコストを削減することができます。

【参考】上記平均収支事例、資材費31万円で補助事業を活用した場合

事業名	助成率	助成額	助成額合計
全農担い手支援策【全農重点推進品目】 ※肥料、農薬、マルチ、支柱、苗が対象。	助成率 1 / 4 上限額 30 万円	5 万円	<u>15 万円</u>
J A 農業者応援事業 【八色西瓜新規取り組みに伴う資材支援】	補助率 40 % 上限額 10 万円	10 万円	

※上記は、取組み1年目での一例です。

八色西瓜生産組合による栽培技術指導や取組の際の補助事業など、幅広く新規生産者をサポートしますので、お気軽にご相談ください。



お問い合わせ:TEL 園芸畜産課(大和):777-3180 営農指導課(大和):777-3786
 営農指導課(塙沢):782-1171 営農指導課(六日町):773-6121

～JAからのお知らせ～

アグリセンター(資材店舗)からのお知らせ

【営業時間のお知らせ】

◇大和店・六日町店・しおざわ店

	3月1日～31日	4月1日～7月31日
営業時間	8：30～17：30	月～金 8：00～18：00 土日・祝日 8：30～17：30
定休日	土日・祝日	なし

◇湯沢店

	3月1日～31日	4月1日～10月31日
営業時間	8：30～17：30	月～金 8：30～17：30 土曜 8：30～12：00
定休日	土日・祝日	日曜・祝日

令和6年度「にいがた農業応援ファンド」募集のご案内

J A グループでは、園芸生産者の規模拡大や園芸生産への新規取組等を実践する際に要する費用の一部を助成します。

●1億円園芸産地チャレンジ事業【助成率50%、上限50万円】

「産地育成計画」を策定している園芸産地において、園芸生産の規模拡大や新規取組等を実践する際に要する費用の一部を助成します。

●園芸生産拡大支援事業【助成率30%、上限30万円】

園芸生産の規模拡大や新たに園芸生産に取り組む担い手に対して、その取り組みに要する費用の一部を助成します。

●農業イノベーション応援事業【助成率30%、上限30万円】

農水省の「みどりの食料システム戦略」等に掲げるスマート農業等の導入による労働生産性の向上、または生産現場における環境負荷軽減に繋がる取り組みに要する費用の一部を助成します。
(園芸以外(水稻等)も対象とします)

●新規・親元就農応援事業【1事業対象者あたり1回のみ、上限20万円】

【新規就農応援事業】 新潟県内において、営農を今後も継続する(または、実施期間中に就農する)見込みである認定新規就農者や農業経営改善計画認定者等に対し、営農費用の一部を助成します。

【親元就農応援事業】 農業に従事する意欲を有して新たに親元で就農を開始する子(孫を含む)またはその配偶者を持つ農業者(個人および法人)に対し、その営農費用の一部を助成します。

申請期間 令和6年4月1日～令和6年6月30日

詳しい内容やお申込みにつきましては、営農指導課までお問い合わせください。

予告

次回のJAみなみ魚沼営農情報誌あぜみちは、以下の通りです。

- ・稻作…播種～育苗管理
- ・園芸…連作障害対策

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786 ◎アグリセンター六日町 TEL773-6121
◎しおざわ基幹センター TEL782-1171